

科目分類	教職に関する科目			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14019	4	前期・後期	選択	1	15
授業科目名 (英文)	養護実習事前・事後指導 (Pre and Post Guidance for the Practicum of School Nursing)				
担当教員名	砂村京子				
授業の概要及び到達目標					
<p>○概要 養護実習に臨むにあたり、養護実習目標と課題を明確化し、教育実習生としての心構えや実習生の特性（児童生徒にとっては教師であり、教員にとっては学生の立場）を理解し、養護実習中に想定される実習内容の事前学習を行う。また、履修簿の書き方等について理解する。</p> <p>○目標</p> <p>①養護実習の目標と課題を「履修カルテ」を活用して明らかにできる。 ②教育実習としての心構えや諸注意について理解できる。 ③保健指導案を作成し、ミニ保健指導を実施することができる。 ④学校救急看護としての救急処置について、症例別に判断とその根拠、処置・対応について説明し、ロールプレイを行い、客観的に評価することができる。 ⑤履修簿の記入方法を理解し、実習中に適切な指導を受けることができるよう準備する。</p>					
準備学習等					
<p>○学校保健安全法、特に保健指導、救急処置、学校健康相談、健康診断、学校環境衛生について復習しておく。</p> <p>○準備学習（予習復習）に必要な時間は15時間です。</p>					
成績評価の方法	○実習目標の設定10% 事前実習報告10% 保健指導発表40% 救急処置ロールプレイ40%				
テキスト	「改訂 養護実習ハンドブック」（大谷尚子・中桐佐智子編著：東山書房）※ 「養護教諭のためのフィジカルアセスメントー見て学ぶ応急処置の基礎基本ー」（大谷尚子・大西文子・五十嵐徹・砂村京子編著：日本小児医事出版社）※ ○必要な資料を配布する。				
参考図書	「改訂 学校保健」（徳山美智子・中桐佐知子・岡田可奈子編著：東山書房）※ ○必要な資料を配付する。				
備考	養護教諭一種免許状取得に必要な選択必修科目（養護概論、学校健康相談）の単位を取得していることが前提条件となる。養護実習、教職実践演習（養護教諭）と合わせて履修すること。原級留め置き、または、仮進級となった場合は本科目を履修することはできない。 教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項を参照ください。卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。 事前実習報告については、「養護実習・実習簿」の記録をもとに個別指導を行うので、以降の養護実習に活用してください。				

授 業 計 画

〔オリエンテーション〕

- 第1回 ・ 養護実習の目標を立てる。
・ 養護実習での心構えや諸注意の説明を行う。

〔事前実習の報告〕

- 第2回 ・ 4月実習（3日間）について、実習内容を報告する。
・ 9月実習（17日間）までの自己学習課題を明確にする。

〔保健指導の実際〕

- 第3回 ・ 保健指導の指導案作成（1）テーマの設定と専門知識の確認
第4回 ・ 保健指導の指導案作成（2）授業構成、教材づくり
第5回 ・ 保健指導模擬授業の実施

〔救急処置の実際〕

- 第6回 ・ 救急処置の症例別対応の確認（アセスメント・判断・処置・対応）
第7回 ・ 保健室来室児童への対応の確認（緊急度、重症度の判断と優先順位）

〔記録方法〕

- 第8回 ・ 履修簿の記入方法について理解し、計画的に記録を進め指導を受けること確認する。
・ 実習中の連絡、報告事項等について確認する。